

はじめに .....	<i>i</i>
序章 .....	<i>1</i>
I 国連主導の開発からワシントン・コンセンサスへ .....	<i>1</i>
II 国連児童基金（ユニセフ）の批判——『人間の顔をした構造調整』—— .....	<i>3</i>
III 新興市場経済での「21世紀型の金融危機」 .....	<i>4</i>
IV 国際舞台での日本叩き——英国による「恐竜（日本）批判」—— .....	<i>5</i>
1章 ブレトンウッズ機関の権威 .....	<i>8</i>
1-1 ブレトンウッズ機関の概要 .....	<i>8</i>
1-2 国際通貨基金（IMF）の業務と機構 .....	<i>10</i>
1-2-1 IMFの業務 .....	<i>10</i>
1-2-2 IMFの機構 .....	<i>13</i>
1-2-3 融資実績 .....	<i>14</i>
1-3 世界銀行の業務と機構 .....	<i>17</i>
1-3-1 世界銀行の業務 .....	<i>17</i>
1-3-2 世界銀行の機構 .....	<i>19</i>
1-3-3 融資実績 .....	<i>20</i>
2章 構造調整計画（経済自由化）の設計（デザイン） .....	<i>23</i>
2-1 構造調整計画導入の背景 .....	<i>23</i>
2-2 構造調整計画の枠組み .....	<i>25</i>
2-2-1 1980年からの開発・援助の体制変革 .....	<i>25</i>
2-2-2 カントリー（国別）・アプローチ .....	<i>28</i>
2-2-3 構造調整計画の国際的支援枠組み .....	<i>30</i>
2-3 政策条件（コンディショナリティ） .....	<i>32</i>
2-3-1 構造調整計画の政策内容 .....	<i>32</i>
2-3-2 財政と公共投資計画 .....	<i>42</i>
2-3-3 IMF・世銀の役割分担 .....	<i>45</i>
補節 構造調整計画のモデルと経済予測 .....	<i>46</i>

3章 構造調整（経済自由化）の実績 .....	55
3-1 途上国全体の進捗 .....	55
3-2 評価・分析のサーベイ .....	57
3-2-1 国際機関によるサーベイ	57
3-2-2 日本人学者によるサーベイ	60
3-2-3 サーベイ結果の比較	62
補節 世銀の評価方法 .....	62
3-3 構造調整支援の援助 .....	64
3-3-1 全体的な融資実績	64
3-3-2 IMFの構造調整支援の融資	65
3-3-3 世界銀行の構造調整支援の融資	67
3-3-4 他ドナーの援助	68
3-4 債務救済 .....	70
3-4-1 債務救済措置	70
3-4-2 債務救済の実績	74
3-5 主要政策の実績 .....	76
3-5-1 実施状況	76
3-5-2 効果と持続可能性	81
3-6 1990年代後半までの総括と課題 .....	86
3-6-1 全体的な総括と課題	86
3-6-2 設計の問題	88
3-6-3 構造調整の社会的側面	92
補節 途上国官僚の批判 .....	94
4章 IMF・世界銀行の改革と貧困削減 .....	100
4-1 全体的な展開 .....	100
4-1-1 途上国全体	100
4-1-2 中所得国	104
4-1-3 低所得国	106
4-1-4 地域アプローチ	110

4-2	IMFの改革	112
4-2-1	IMFによる政策レビュー	112
4-2-2	政策の展開	116
4-3	世銀の新しい戦略	118
4-3-1	世銀による政策レビュー	118
4-3-2	政策の展開	124
4-4	世界貿易機関（WTO）との関係	127
4-4-1	WTOを含めた体制	128
4-4-2	貿易自由化	129
4-5	貧困削減と援助協調	130
4-5-1	急速な開発・援助枠組みの変革	130
4-5-2	識者の反論	133
4-6	紛争国への関与	134
4-7	問題点と課題	136
4-7-1	開発の枠組みと政策	136
4-7-2	援助の枠組みと政策	139
4-8	日本の対応	141
4-8-1	IMF・世銀に対する過去の協力方針	141
4-8-2	協力の実績と成果	143
4-8-3	現状と今後の方向	147
5章	地域別・国別サーベイ	154
5-1	アジア諸国の実績	154
5-1-1	東アジア	154
5-1-2	アジア通貨危機	155
5-1-3	その他のアジア諸国	159
5-2	ラテン・アメリカ地域の実績	160
5-3	アフリカを除く他の地域の実績	162

6章 新興市場経済 .....	165
6-1 対象国・地域 .....	165
6-2 構造改革の進捗と成果 .....	168
6-2-1 構造改革の動向	168
6-2-2 直面する新たな局面	171
6-3 最近の動向 .....	174
6-4 課題 .....	174
7章 事例分析：フィリピン（中所得国） .....	176
7-1 はじめに .....	176
7-2 フィリピンの概要 .....	177
7-3 融資実績からみた全体的な進捗 .....	178
7-4 先行文献のサーベイ .....	180
7-5 構造調整計画の実績 .....	184
7-5-1 経済協力の効果	184
7-5-2 マクロ経済分析	189
7-5-3 構造調整計画の期間別の実績	193
7-5-4 主な政策毎の実績	196
7-6 IMFプログラム卒業年（2000年）までの総括 .....	199
7-7 貧困を含む最近までの動向 .....	202
8章 事例研究：低所得地域・国 .....	206
8-1 サハラ以南アフリカ .....	206
8-1-1 融資実績から見た全体的な進捗	208
8-1-2 実施状況による国分類	210
8-1-3 IMF・世銀の文献による国別の実施状況	211
8-1-4 構造調整計画全体の評価	214
8-1-5 経済開放政策の実施状況と効果	216
8-1-6 国内市場規制緩和政策の実施状況と効果（農業）	220
8-1-7 公的部門改革政策の実績	229

8-1-8 債務免除決定（1999年）までの総括	230
8-1-9 アフリカの最近までの動向	230
8-2 タンザニア	233
8-2-1 はじめに	233
8-2-2 最近の動向	233
8-2-3 課題	236
付 録	241
A. IMFのホームページ	241
A.1 基本的利用法	241
A.2 資料解説	242
B. 世界銀行のホームページ	246
B.1 基本的利用法	246
B.2 資料解説	246
B.3 その他	248
C. その他の資料・情報	249
D. 情報源	249
おわりに	251
略語表	257
国際通貨基金（IMF）・世界銀行の基本情報と凡例	259
IMF・世界銀行主導の構造改革の年表	260
参考文献	262

ネット・トーク (ネット上の小技)

- 1 ワシントンでの記者会見—世界経済を取り仕切る人々— 11
- 2 大統領署名の政策文書の公開 42
- 3 ワールド・スタンダードの情報の入手 50
- 4 知的ネットワークの活用 123
- 5 国別競争力ランキング 173
- 6 プロジェクト・サイクルと事後評価文書 239

エピソード

- 1 世銀融資による新幹線建設 18
- 2 80年代初頭のIMF・世銀による国連からの主導権剥奪 27
- 3 IMF ミッションに右往左往 51
- 4 「新植民地主義」対「新自由主義」の舌戦 98
- 5 IMF 局長によるノーベル経済学者への「果たし状」 115
- 6 イギリス国際開発省課長との激論 132
- 7 アジア通貨危機の処方箋—「拝啓 マレーシア首相殿」— 158
- 8 アルゼンチンでのサムライ債焦げ付き 170

## 図表リスト

### [図リスト]

図 2-1	カントリー・アプローチ（重点部門や事業の絞込み）	28
図 2-2	構造調整のフローチャート	31
図 2-3	構造調整計画の政策体系	38
図 3-1	債務救済措置の変遷	72
図 4-1	拡大 HIPC イニシアティブ（債務救済措の流れ）	111
図 8-1	アフリカ全図	207

### [表リスト]

#### 1章 プレトンウッズ機関の権威

表 1-1	IMF の融資実績（1975-2006）	16
表 1-2	世界銀行の融資実績（1980-2000）	22

#### 2章 構造調整計画（経済自由化）の設計（デザイン）

表 2-1	開発・援助体制の転換	27
表 2-2	目標と政策	35
表 2-3	ワシントン・コンセンサスの名付親による 10 の政策改革	36
表 2-4	世銀による政策リスト	39
表 2-5	構造調整計画の政策と効果	40

#### 3章 構造調整（経済自由化）の実績

表 3-1	最初の構造調整支援融資	65
表 3-2	世銀の調整融資の部門別内訳（1995-2000）	69
表 3-3	対外債務分類基準	75
表 3-4	債務負担度による国分類（1999-2001）	75
表 3-5	国際取引制度の国比較	78
表 3-6	為替相場制度による国分類（2000年3月31日現在）	80
表 3-7	主要国の関税率（2001年）	81
表 3-8	途上国への資金の流れ（1970-2001）	82
表 3-9	直接投資の地域別配分（1980-2005）	87
表 3-10	構造調整計画への批判	90

#### 4章 IMF・世界銀行の改革と貧困削減

表 4-1	IMF 手段別国一覧表 (2005 年 1 月末日現在)	102
表 4-2	貧困削減戦略ペーパー (PRSP) の基本	108
表 4-3	国連開発目標 (UNMDGs)	108
表 4-4	重債務貧困国 (HIPC) と債務免除	109
表 4-5	長引いた IMF 融資国	113
表 4-6	IMF による批判への対応	114
表 4-7	低所得国の国別レーティング (2005)	122
表 4-8	部門投資計画 (SIP) の特徴	127
表 4-9	世銀の開発政策融資 (2002-2006)	127
表 4-10	紛争国の経済指標	135
表 4-11	重債務貧困国 (HIPC) への日本の債務免除 (2003-2005)	146
表 4-12	絶対貧困層の地域別予測 (1990-2015)	150

#### 5章 地域別・国別サーベイ

表 5-1	ラテン・アメリカ諸国の改革	162
-------	---------------	-----

#### 6章 新興市場経済

表 6-1	新興市場経済の主要指標	167
表 6-2	ゴールドマン・サックス (GS) 社の BRICs 予測との比較	168

#### 7章 事例分析：フィリピン (中所得国)

表 7-1	IMF・世銀の融資	179
表 7-2	経済協力と援助	182
表 7-3	国際収支の動向	186
表 7-4	日本の経済協力	189
表 7-5	マクロ経済分析結果	190
	A 経済実績 (政策の実施状況)	190
	B 経済実績 (政策の効果)	190
	C 経済実績 (持続可能性)	191
表 7-6	国内総生産 (GDP) の部門別推移	194
表 7-7	構造調整政策の実施状況	198
表 7-8	中央政府歳出のセクター別内訳	200

#### 8章 事例研究：低所得地域・国

表 8-1	世銀の構造調整融資 (1980-2000)	209
表 8-2	構造調整計画の国分類 (1999-2000 年時点)	212
表 8-3	構造調整計画実施状況による国分類 (1988)	214



表 8-4	主要国の債務	216
表 8-5	債務構成 (1980-2001)	217
表 8-6	IMF8 条国 (1999)	218
表 8-7	為替相場制度による国分類 (2000 年 3 月 31 日)	219
表 8-8	東・南部アフリカ諸国の貿易体制 (1988 年)	220
表 8-9	メイズ市場政策 (1984-1994)	222
表 8-10	農業部門の構造調整 (1990-1996/97)	223
表 8-11	農業部門の実績 (1990-1996/97)	225
表 8-12	GDP と輸出入	226
表 8-13	農業生産高	226
表 8-14	外貨獲得の源泉の国分類 (2000)	228
表 8-15	公企業民営化	229
表 8-16	資金の流れ	234
表 8-17	財政構造	234
表 8-18	貿易の推移	235
表 8-19	事例研究の研究課題 (貧困削減と援助協調)	238